

1. 工事概要 (赤字部分は必須項目です。必ず入力してください)

発注機関を
選択

大分類 個人

中分類 <選択不要>

小分類 <選択不要>

発注機関コード790800

発注
担当者国土 太郎

法人番号1234567890123
←<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>

請負会社名株式会社○×△

記入年月日西暦 2024 年 9 月 30 日

工事責任者〇〇 〇〇

調査票記入者△△ △△

社所在地埼玉県さいたま市中央区△△1-1-1

TEL 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇

E-mail 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇

工事名○×私道舗装工事

請負金額12,345
(1万円未満は四捨五入)
万円 (税込)

工事施工場所住所コード11105
工事種別を選択工事種別コードB-1

工期西暦 2024 年 6 月 25 日から
西暦 2024 年 9 月 29 日まで

桁間違い、単位の違いに注意

元請業者担当者、連絡先の記入、TEL、FAXの番号間違いに注意

着工年月日<竣工年月日

2. 建設資材利用実績

コードの間違いに注意

建設資材名称		建設資材利用量＝搬入利用量(A)＋現場内利用量(B)		左記「搬入利用量(A)」のうち、供給元別内訳		供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「○」を1つだけ入力して下さい)				
		搬入利用量(A)	現場内利用量(B)	「搬入利用量(A)」のうち、供給元別利用量 (搬入利用量(A)は自動計算されますので、合計値を確認してください)	供給元住所 (上のプルダウンリストで都道府県、市区町村を選択し、表示された住所コードを入力して下さい)	他の工事 現場(内陸)	他の工事 現場(海面)	再資源化 施設	土砂 ストックヤード	その他
土砂	山砂、山土などの新材(採取土、購入土)	1,250.0 締めm3	1,250.0 締めm3							
	土質改良土(土質改良プラントからの購入土) (第1種～第4種改良土)			1箇所目 締めm3 2箇所目 締めm3 3箇所目 締めm3	11203					
	第1種建設発生土	4,500.0 締めm3	300.0 締めm3	1箇所目 100.0 締めm3 2箇所目 100.0 締めm3 3箇所目 100.0 締めm3	11105 11104	○			○	
	第2種建設発生土			1箇所目 締めm3 2箇所目 締めm3 3箇所目 締めm3						
	第3種建設発生土	225.0 締めm3	125.0 締めm3	1箇所目 75.0 締めm3 2箇所目 50.0 締めm3 3箇所目 締めm3	11101 11203	○			○	
	第4種建設発生土			1箇所目 締めm3 2箇所目 締めm3 3箇所目 締めm3						
	浚渫土以外の泥土(建設発生土)			1箇所目 締めm3 2箇所目 締めm3 3箇所目 締めm3						
	浚渫土			1箇所目 締めm3 2箇所目 締めm3 3箇所目 締めm3						
	建設汚泥処理土 (第1種～第4種処理土)			1箇所目 締めm3 2箇所目 締めm3 3箇所目 締めm3						
	再生コンクリート砂	100.0 締めm3	100.0 締めm3	1箇所目 50.0 締めm3 2箇所目 50.0 締めm3 3箇所目 締めm3	11105 11103					
建設資材名称		建設資材利用量＝搬入利用量(A)＋現場内利用量(B)		左記「搬入利用量(A)」のうち、再生資材の供給元別内訳(再生資材を利用した場合に記入してください)		供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「○」を1つだけ入力して下さい)				
		搬入利用量(A) (新材を含む全体の搬入利用量)	現場内利用量(B)	「搬入利用量(A)」のうち、再生資材の供給元別利用量 「搬入利用量(A)」≥「再生資材利用量」	再生資材の供給元住所 (上のプルダウンリストで都道府県、市区町村を選択し、表示された住所コードを入力して下さい)	他の工事 現場(内陸)	他の工事 現場(海面)	再資源化 施設	土砂 ストックヤード	その他
コンクリート	コンクリート用再生骨材 H を用いた生コンクリート	トン	トン	1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	コンクリート用再生骨材 M を用いた生コンクリート	トン	トン	1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	コンクリート用再生骨材 L を用いた生コンクリート	50.0 トン	50.0 トン	1箇所目 50.0 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン	11227					
	上記以外の生コンクリート (新材も含む上記以外の全て)	235.0 トン	235.0 トン	1箇所目 150.0 トン 2箇所目 85.0 トン 3箇所目 トン	11105 11104					
	コンクリート用再生骨材 H、M、L を用いたコンクリート二次製品(有筋、無筋を問わず)	トン	トン	1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	上記以外のコンクリート二次製品 (新材も含む上記以外の全て。有筋、無筋を問わず)	トン	トン	1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
木材		トン	トン	1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
アスファルト・コンクリート		1,500.0 トン	1,500.0 トン	1箇所目 500.0 トン 2箇所目 500.0 トン 3箇所目 500.0 トン	11105 11104 11227			○ ○ ○		
砕石	鉱さい	m3		1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	クラッシャーラン	1,000.0 m3	1,000.0 m3	1箇所目 500.0 m3 2箇所目 500.0 m3 3箇所目 m3	11105 11227			○ ○		
	ぐり石、割ぐり石、自然石	300.0 m3	300.0 m3							
	その他の砕石	m3	m3	1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						

この調査票は、土木工事用です。
建築工事、解体工事は別の様式を使用してください。

土木工事用

[illegible]

2024年度建設副産物実態調査

記入例

利用量・搬出先調査票(利用量調査)

元請業者が法人の場合、法人番号を記入
土木工事用土木工事、解体工事は別の様式を使用元請業者担当者、連絡先の記入、TEL、FAXの番号間違いに注意

1. 工事概要 (赤字部分は必須項目です。必ず入力してください)

発注機関を
選択

大分類 個人

中分類 -----<選択不要>-----

小分類 -----<選択不要>-----

発注機関コード
790800

発注
担当者 国土 太郎

法人番号
1234567890123

請負会社名
株式会社〇×△

社所在地
埼玉県さいたま市中央区△△1-1-1

TEL
〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇

E-mail
〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇

記入年月日
西暦 2024 年 9 月 30 日

工事責任者
〇〇 〇〇

調査票記入者
△△ △△

桁間違い、単位の違いに注意

工事名
〇×住宅新築工事

請負金額
12,345 (1万円未満は四捨五入)万円 (税込)

延床面積
250 m²

※解体工事で建築工事が一体となっている工事は、解体分と建築分に分け、本調査票には、建築分の内容を入力してください。解体分は、「解体工事用」の調査票に入力してください。

工事施工場所
住所コード 11105

工事種別を選択

工事種別コード
Q

工期
西暦 2024 年 6 月 25 日から
西暦 2024 年 9 月 29 日まで

構造を選択
木造

2. 建設資材利用実績

コードの間違いに注意

建設資材名称		建設資材利用量＝搬入利用量(A)＋現場内利用量(B)		搬入利用量(A) 着工年月日<竣工年月日		左記「搬入利用量(A)」のうち、供給元別内訳		供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「〇」を1つだけ入力して下さい)						
						「搬入利用量(A)」のうち、供給元別利用量 (搬入利用量(A)は自動計算されますので、合計値を確認してください)		供給元住所 (上のプルダウンリストで都道府県、市区町村を選択し、表示された住所コードを入力して下さい)	他の工事現場(内陸)	他の工事現場(海面)	再資源化施設	土砂ストックヤード	その他	
土砂	山砂、山土などの新材(採取土、購入土)	500.0	m3	500.0	m3									
	土質改良土(土質改良プラントからの購入土)(第1種～第4種改良土)		m3		m3									
	第1種建設発生土	450.0	m3	300.0	m3	150.0	m3	1箇所目 100.0 m3 2箇所目 100.0 m3 3箇所目 100.0 m3	11105 11203 11104	〇			〇 〇	
	第2種建設発生土		m3		m3		m3	1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	第3種建設発生土		m3		m3		m3	1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	第4種建設発生土		m3		m3		m3	1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	浚渫土以外の泥土(建設発生土)		m3		m3		m3	1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	浚渫土		m3		m3		m3	1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	建設汚泥処理土(第1種～第4種処理土)		m3		m3		m3	1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	再生コンクリート砂	100.0	m3	100.0	m3			1箇所目 50.0 m3 2箇所目 50.0 m3 3箇所目 m3	11105 11103					
	建設資材名称		建設資材利用量＝搬入利用量(A)＋現場内利用量(B)		搬入利用量(A) (新材を含む全体の搬入利用量)		現場内利用量(B)		左記「搬入利用量(A)」のうち、再生資材の供給元別内訳(再生資材を利用した場合に記入して下さい)		供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「〇」を1つだけ入力して下さい)			
									「搬入利用量(A)」のうち、再生資材の供給元別利用量 (上のプルダウンリストで都道府県、市区町村を選択し、表示された住所コードを入力して下さい)		他の工事現場(内陸)	他の工事現場(海面)	再資源化施設	土砂ストックヤード
コンクリート	コンクリート用再生骨材 H を用いた生コンクリート		トン		トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	コンクリート用再生骨材 M を用いた生コンクリート		トン		トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	コンクリート用再生骨材 L を用いた生コンクリート		トン		トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	上記以外の生コンクリート(新材も含む上記以外の全て)		トン		トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	コンクリート用再生骨材 H、M、L を用いたコンクリート二次製品(有筋、無筋を問わず)		トン		トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
	上記以外のコンクリート二次製品(新材も含む上記以外の全て。有筋、無筋を問わず)	10.0	トン	10.0	トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
木材			トン		トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
アスファルト・コンクリート			トン		トン			1箇所目 トン 2箇所目 トン 3箇所目 トン						
砕石	鉱さい		m3		m3			1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						
	クラッシャーラン	150.0	m3	150.0	m3	0.0	m3	1箇所目 100.0 m3 2箇所目 50.0 m3 3箇所目 m3	11105 11227		〇 〇			
	ぐり石、割ぐり石、自然石	50.0	m3	50.0	m3	0.0	m3							
	その他の砕石		m3		m3			1箇所目 m3 2箇所目 m3 3箇所目 m3						

3. 建設副産物発生・搬出実績

[illegible][illegible]

2024年度建設副産物実態調査

記入例

利用量・搬出先調査票(利用量調査)

解体工事用

元請業者が法人の場合、法人番号を記入
解体工事用
土木工事、建築工事は別の様式を使用
元請業者担当者、連絡先の記入、TEL、FAXの番号間違いに注意

1. 工事概要 (赤字部分は必須項目です。必ず入力してください)

発注機関を
選択

大分類 個人
中分類 -----<選択不要>-----
小分類 -----<選択不要>-----

発注機関コード
790800

発注
担当者 国土 太郎

法人番号
1234567890123
←<https://www.hdjiin-bangou.nta.go.jp/>

請負会社名
株式会社〇×△

記入年月日
西暦 2024 年 9 月 30 日

工事責任者
〇〇 〇〇

調査票記入者
△△ △△

社所在地
埼玉県さいたま市中央区△△1-1-1

TEL
〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇

E-mail
〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇

工事名
〇×住宅解体工事

請負金額
12,345
(1万円未満は四捨五入)
万円 (税込)

延床面積
250 m²

工事施工場所
住所コード 11105
工事種別を選択
工事種別コード S

工期
西暦 2024 年 6 月 25 日から
西暦 2024 年 9 月 29 日まで

構造を選択
木造

※解体工事と建築工事が一体となっている工事は、解体分と建築分に分け、本調査票には、解体分の内容を入力してください。建築分は、「建築工事用」の調査票に入力してください。

建設資材利用実績

コードの間違いに注意

建設資材名称	建設資材利用量＝搬入利用量(A)＋現場内利用量(B)	搬入利用量(A)	現場内利用量(B)	左記「搬入利用量(A)」のうち、供給元別内訳	供給元住所	供給元種類コード	再資源化施設	土砂ストックヤード	その他		
				「搬入利用量(A)」のうち、供給元別利用量(搬入利用量(A)は自動計算されますので、合計値を確認してください)	(上のプルダウンリストで都道府県、市区町村を選択し、表示された住所コードを入力して下さい)	(該当する「供給元種類」に「〇」を1つだけ入力して下さい)					
						他の工事現場(内陸)	他の工事現場(海面)				
土砂											
山砂、山土などの新材(採取土、購入土)	500.0 m3	500.0 m3		1箇所目 m3	11105	〇					
土質改良土(土質改良プラントからの購入土)(第1種～第4種改良土)				2箇所目 m3	11203			〇			
第1種建設発生土	450.0 m3	300.0 m3	150.0 m3	3箇所目 m3	11104			〇			
第2種建設発生土				1箇所目 m3							
第3種建設発生土				2箇所目 m3							
第4種建設発生土				3箇所目 m3							
浚渫土以外の泥土(建設発生土)				1箇所目 m3							
浚渫土				2箇所目 m3							
建設汚泥処理土(第1種～第4種処理土)				3箇所目 m3							
再生コンクリート砂	100.0 m3	100.0 m3		1箇所目 m3	11105						
				2箇所目 m3	11103						
				3箇所目 m3							
建設資材名称	建設資材利用量＝搬入利用量(A)＋現場内利用量(B)	搬入利用量(A) (新材を含む全体の搬入利用量)	現場内利用量(B)	左記「搬入利用量(A)」のうち、再生資材の供給元別内訳(再生資材を利用した場合に記入してください)	再生資材の供給元住所(上のプルダウンリストで都道府県、市区町村を選択し、表示された住所コードを入力して下さい)	供給元種類コード (該当する「供給元種類」に「〇」を1つだけ入力して下さい)	他の工事現場(内陸)	他の工事現場(海面)	再資源化施設	土砂ストックヤード	その他
				「搬入利用量(A)」≥「再生資材利用量」							
コンクリート				1箇所目 トン							
コンクリート用再生骨材 Hを用いた生コンクリート				2箇所目 トン							
コンクリート用再生骨材 Mを用いた生コンクリート				3箇所目 トン							
コンクリート用再生骨材 Lを用いた生コンクリート				1箇所目 トン							
上記以外の生コンクリート(新材も含む上記以外の全て)				2箇所目 トン							
コンクリート用再生骨材 H、M、Lを用いたコンクリート二次製品(有筋、無筋を問わず)				3箇所目 トン							
上記以外のコンクリート二次製品(新材も含む上記以外の全て。有筋、無筋を問わず)				1箇所目 トン							
木材				2箇所目 トン							
アスファルト・コンクリート				3箇所目 トン							
砕石				1箇所目 m3							
砕さい				2箇所目 m3							
クラッシャーラン	150.0 m3	150.0 m3	0.0 m3	3箇所目 m3	11105			〇			
ぐり石、割ぐり石、自然石	50.0 m3	50.0 m3	0.0 m3	1箇所目 m3	11227			〇			
その他の砕石				2箇所目 m3							
				3箇所目 m3							

この調査票は、解体工事用です。
土木工事、建築工事は別の様式を使用してください。

解体工事用

[illegible]